

O's news



2018年5月1日発行

腰椎圧迫骨折の痛みをとる

脊椎・脊髄センター長 山本 慎司

骨粗鬆症とは、加齢に伴い「骨がスカスカ」になる病的な状態で、尻もちをついたり、荷物を持ち上げた程度で背骨が折れてしまう危険な状態です。人口の高齢化に伴い、骨粗鬆症の患者さんも急激に増加しており、現在1300万人に及び、そのうち正しく診断され治療を受けている方は2割程度とされています。

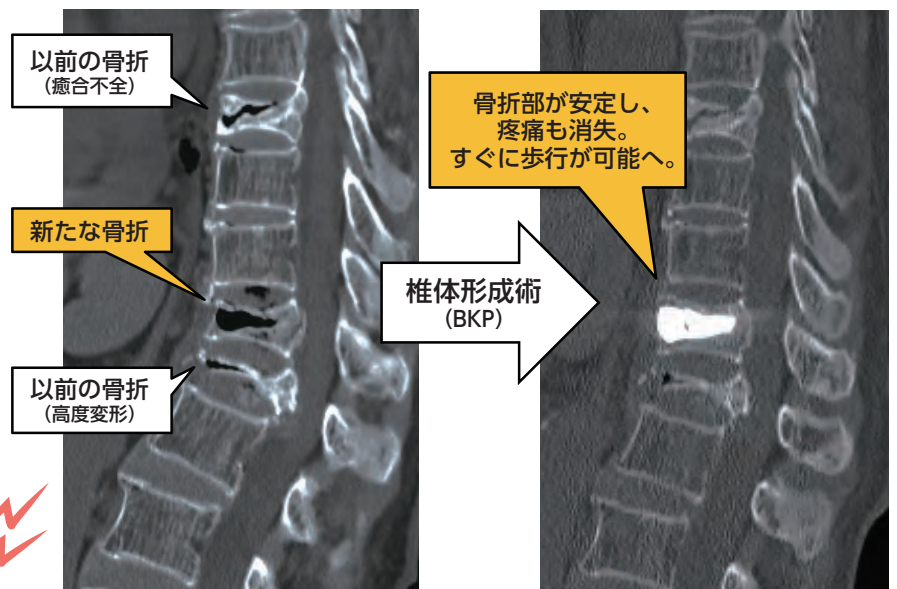
若い方の骨折と違い、高齢者の骨粗鬆症による骨折は背骨や大腿骨に生じることが多く、手術やコルセット固定、長期間の入院安静が必要となるため、筋力の低下や認知症などを来しやすく、どんどん姿勢が悪くなり、難治性の腰痛も出現し、さらに筋力も低下して転倒しやすくなります。骨折し変形した背骨の隣の背骨にも異常な負荷がかかるようになるため、2個3個と骨折がドミノ倒しのように次々に起こってゆきます。介護が必要となる人の5人に1人がこうした骨折や転倒によるものとされており、これは脳血管障害(脳卒中)で介護が必要となる人と同程度で、現在の日本において非常に深刻な問題です。特に女性は閉経後に急速に骨粗鬆症が発生、進行するために、このような骨折を生じる前にできるだけ早期から定期的に検査を行い、治療を開始することが重要です。現在は骨密度検査(骨塩定量測定)にて容易に測ることが可能で、特に背骨や大腿骨の骨密度を直接測定することが

大切で、本院でも骨塩定量測定専用装置を用いて腰椎と大腿骨の同時測定で診断を行っています。



骨粗鬆症の予防、治療には、食事や運動などの生活習慣の改善と薬物治療を組み合わせで行います。食事はカルシウムだけではなくバランスよく栄養素を取る必要があります。また、適度な運動により骨量を増やし、転倒の危険性を減らすことが期待できます。また、多数の新規薬剤の登場により、検査結果や病状に応じて複数の薬物を組み合わせ治療を行うことができるようになりました。

残念ながら圧迫骨折が生じれば、まず安静、コルセット装着などで骨折箇所の安定を図り、速やかに薬物治療を開始します。痛みが持続するようであれば、レントゲン装置を用いて慎重に骨折部分に針を進め、骨用のセメントを注入して固める治療(経皮的バルーン椎体形成術:BKP)を行うこともあります。手術時間は約30分程度で、手術翌日より歩行訓練を開始します。本院もこの手術が実施できる認定専門施設です。高齢の方が多いため、できるだけ体の負担をかけず速やかに症状を改善するような治療を選択しています。



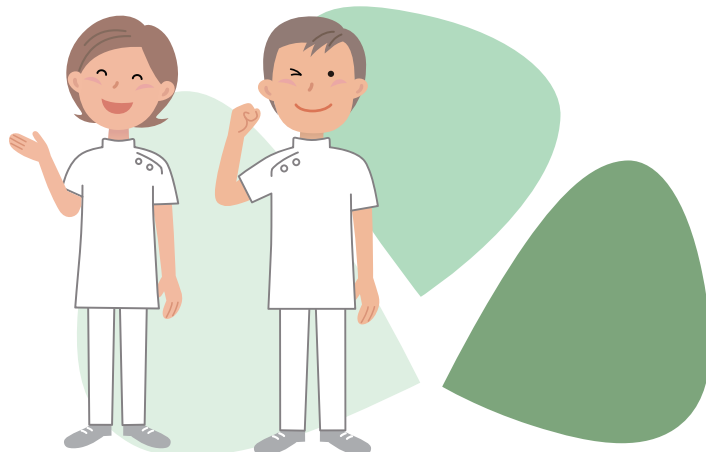
入職医師の紹介



4月から当院で勤務しております、小坂拓也と申します。
生まれも育ちも大阪で県外に出て過ごすのは初めてになります。
まだまだ若輩ではありますが、日々勉強に励み皆様のお力に少しでもなれたら
と思います。よろしくお願いいたします。



小坂 拓也
(こさか たくや)



病棟で働くスタッフについて

北2階病棟 主任 亀井 智子

北2階病棟は脊椎・脊髄センターとして43床を有し、看護師、介護福祉士、看護助手、医療秘書が所属しています。患者さまの入院期間中にはそれら以外、薬剤師、放射線技師、リハビリテーションスタッフ、管理栄養士、医療事務、守衛などのスタッフと接することも多いと思います。しかし入院生活上で常に関わるのは病棟スタッフの面々となります。

私たちは他職種と協力し合うことで各々が専門性を発揮し、患者さまによりよい医療や看護を提供することが出来ると考えています。入院中は、医師や看護師、リハビリテーションのスタッフに目が行く事が多いと思いますが、介護福祉士や看護助手、医療秘書は患者さまの入院生活を援助するために必要不可欠な存在であり、それぞれが日々知識や技術の習得に励みながら強い責任感を持って患者さまに関わっています。今後、このようなスタッフに目を向けて頂くと、何か新しい発見があるかもしれません。





日本の四季暦

「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo
秋吉 美穂子

さつき
五月

木々は青々と茂り、虫や鳥たちも活発に動き、気持ちの良い季節です。沿道を赤紫色やピンク色のツツジの花が明るく彩ります。



六節気
穀雨

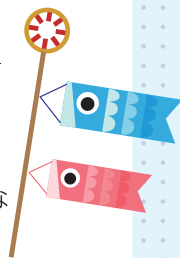
4/30~5/4(第十八候) 牡丹華 / ぼたんはなさく

春たけなわのこの季節、華麗な牡丹が咲き始めます。花の長さが80cmにもなる荘厳な藤も見頃に♪江戸時代、「吉野の桜」「高雄の紅葉」「野田の藤」が三大名所と言われました。「野田藤」と呼ばれ、大阪福島区が発祥地です。

七節気
立夏

5/5~10(第十九候) 鼃始鳴 / かわずはじめてなく

季節はゆっくりと初夏へ。夏の兆しのカエルの声が聞こえてきます。5月5日は端午の節句。武士が登場する鎌倉時代、菖蒲=尚武と結びつき、男児の祝いとなりました。現代では「五月人形」は男児の身を護る為、「鯉のぼり」は立身出世を願うため。



爽やかな風、新緑が青々と萌え
行楽シーズンです。

5/11~15(第二十候) 蚯蚓出 / みみずいずる

冬眠からやっと目覚め、みみずがによろっとはい出てくる頃です。「花の王」の牡丹に対して「花の宰相」と呼ばれる芍薬。世界中で8000種もあります。牡丹は樹木花、芍薬は草なので冬は地上部が枯れます。根っこは漢方薬に重用されます。



5/16~20(第二十一候) 竹笋生 / たけのこしょうず

3、4月「孟宗竹」、4月「淡竹」、5月「真竹」それぞれに特徴のある竹の子の季節です。新緑が風に揺れ気持ちのよい季節、竹の子は季節のごちそうですね♪



八節気
小満

5/21~25(第二十二候) 蚕起食桑 / かいこおきてくわをはむ

その昔「お蚕様」と呼ばれた蚕。繭から取れた絹糸は貴重な輸出品目として日本経済を支えました。かわいらしい「鈴蘭」、よい香りがあり、日本名を「君影草」、関東から以北、特に北海道に多く、郷土の花とされています。



陽気が良くなり、万物が成長して、命のエネルギーが満ちあふれます。春から夏へ、衣替えも間近。

5/26~30(第二十三候) 紅花栄 / べにばなさかう

紅花は古代エジプト時代から紅色の染料として栽培され、黄色から次第に紅色へ移る様子は「恋心」にも例えられました。江戸時代、隠元禅師が日本に伝えた「隠元豆」、若採りしてさやごと食べるのが「さやいんげん」です。成長の早い関西地方では三度収穫できるので「さんど豆」と呼ばれます。栄養も豊富です♪



今月の花

ハナショウブ(花菖蒲)

アヤメ科アヤメ属

花期:5/下旬~7月 花言葉:「心意気」「うれしい知らせ」



優美な花姿に、しっとりとした風情、花色は紫~白・桃・黄など様々で、その品種は5000種近くもあると言われます。風流なその名前に一つ一つ納得しながら菖蒲園を歩き巡るのは、この季節の楽しみの一つです。大きく江戸系、伊勢系、肥後系に分かれます。「いずれアヤメかカキツバタ」優劣がつけがたい女性の美しさを言い表わした言葉ですね。

各々よく似ていて区別しにくいものです。アヤメは「陸生」で、カキツバタ(杜若)は「水生」、池や沼地を好みます。花菖蒲の咲く菖蒲園、修景の為に水が張っていますが、本来は「陸生」です。また端午の節句の「菖蒲」はサトイモ科のショウブで、花菖蒲とは別の植物です。



Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
	午後	—	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
2診	午前	高橋	前岡	角田	佐藤	—
	午後	高橋	前岡	角田	—	—
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	小坂
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	—
6診	午前	脳血管内治療外来 高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)/高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本
7診	午前	神経内科 立花	—	神経内科 赤谷	内科 竈門(カマド)	—
	午後	—	—	—	内科 竈門(カマド)	<13:00~> 麻酔科 鈴木

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (H30.5)

連携協力医療機関のご紹介(No.150)

おだけ内科循環器科

院長:小武 道雄

【認定資格】医学博士・総合内科専門医・循環器専門医
認定産業医

【診療科目】内科、循環器内科、胃腸内科

【住所】加古川市別府町中島町51-2

【電話】079-435-1740

小武院長からのメッセージ

当院は別府のイトーヨーカドー 西200mに位置します。父が昭和43年に小武医院を開設。今年で開設50年となります。内科、循環器内科、胃腸内科の他、在宅診療にも力を入れています。今後とも、大西脳神経外科病院との病診連携を密にし、地域医療に邁進していきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(8:30~12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後(16:00~19:00)	○	/	○	/	○	/	/



胃内視鏡・腹部エコー:午前8時より(要予約)
心エコー・ホルター心電図:午後3時30分より(要予約)
往診:平日午後2時~4時

連携協力医療機関のご紹介(No.151)

クリニックちえのわ

院長:山田 嘉則

【診療科目】心療内科・精神科・在宅医療

【住所】兵庫県明石市東仲ノ町11-30KTSビル5F

【電話】078-918-8818

山田院長からのメッセージ

認知症をはじめ、心身の問題に悩む方とご家族に最初から最後まで寄りそい、心身両面の治療とケアを提供しています。通院が難しい方には訪問診療も行っており、ご自宅での療養を応援しています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:30~12:30)	○	○	○	○	○	○	/
午後(16:00~19:00)	○	○	○	/	○	/	/



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:院長 大西 英之 編集責任者:事務次長 瀧原 健司

